



TOP > 中野人 > 【中野人インタビュー】都立家政発！ロックユニット「ザ・リーサルウェポンズ」

シェア

ツイート



【中野人インタビュー】都立家政発！ロックユニット「ザ・リーサルウェポンズ」

2022.02.21 UP 西武新宿線沿線西エリア 投稿者：まるっと中野編集部

[中野人]



「ザ・リーサルウェポンズ」(左)サイボーグジョーと(右)アイキッド

「ザ・リーサルウェポンズ」を、みなさんご存知でしょうか。中野区の都立家政を拠点とし、1980～1990年代の音楽や映画、ゲーム文化をベースにした音楽エンターテイメント活動を行なっている日米二人組ロックユニットです。

狂気の発明家アイキッドと、彼が発明した最終兵器サイボーグジョーが生み出す異色の世界観は、中野だけにとどまらず、今や全世界にファン層を拡大していってます。

今回はその「ザ・リーサルウェポンズ」のお二人に、お話をお伺いします。

アイキッド (AI-KID)

総合プロデューサー。楽曲では作詞、作曲、編曲、楽器全般担当。好きなゲーム機はメガドライブ

サイボーグジョー (CYBORG JOE)

ボーカル担当。アイキッドのことを「センセイ」と呼ぶ。好きなゲーム機はスーパーファミコン

アーティストとしても住人としても、お気に入りのまち“中野”



- 「ザ・リーサルウェポンズ」は都立家政で誕生したユニットと聞いています

アイキッド「はい。もともと僕は東京都江戸川区生まれなんですが、一度群馬県に移り、その後東京に戻ってきました。中野に住み始めたのは2014年からです。最初は沼袋でしたが、今は都立家政に住んでいます」

ジョー「僕はアメリカのオハイオ州出身です。大阪に大学生の時留学し、東京に来たのは7年前。2015年のラグビーW杯の時だから、中野に住み始めたのはセンセイ（アイキッドさんのこと）と同じ頃だね。大阪にいた頃は“関西サイコー！”って感じだったけど、東京に来たら“東京ってやっぱスゲー！”となり、今ではすっかり東京好きになっちゃった」

アイキッド「ジョーとの出会いは、都立家政のブックマートの店長からの紹介でした。そもそもブックマートの店長とは、僕が沼袋にいた、野方の居酒屋で知り合ったんです。お互いたまたま隣に座っていた時に、“ANTHEM（アンセム）”というヘビメタルバンドの曲がお店に流れてきて、僕がバンド名を呟いたら“ヘビメタ好きなんですか？”と話しかけられて…。当時僕はアニメを作る仕事をしていたんですが、作品に英語字幕をつけるにあたって翻訳ができる人を探していることを話題にしたら、“最近、道案内をした外国人と知り合いになったんだけど、彼が結構おもしろいんだよ”と、ジョーを紹介してくれたんです。その後しばらくして、2016年に「ブックマートの曲とプロモーションビデオを作ってくれ」と店長から依頼を受けた際、僕自身は歌が歌えなかったのでジョーに依頼したんです。これが二人での最初の活動になりますね」



ジョー「僕はそのまま一緒にバンドをやろうと誘っていたんだけどね。ナカナカOKと言ってくれなかったの」

アイキッド「いや〜、本格的な活動は正直難しいと最初は思っていたから（笑）。でも1年ぐらい経ってから、僕の仕事に若干余裕が出てきた頃、土日とかお祭り限定ユニットで活動してみるのもいいかな…と思い始めて。ジョーもすごく日本語が上手になっていましたし（笑）。でも僕も“どうせやるなら”と、デビューまでの青写真をつくり活動に臨みましたね。こうしてザ・リーサルウェポンズは誕生しました」

ーザ・リーサルウェポンズは80〜90年代サブカルチャーを彷彿とさせる楽曲が多いですが、サブカル的なものもやはり好きで？

アイキッド「僕はゲームとか好きで、メガドライブは今でもプレイし続けています。ちなみに、後ろのモニターに写っているジャケットイラストは、90年代ブームとなった“ストリートファイター2”のジャケットを描いたあきまん先生に描いてもらったものです。なので、もしこのジャケットを見て“スト2っぽいな”と思ったとしても、っぽいではなく、むしろ本家です（笑）」



イラストレーター“あきまん”氏によるオフィシャルイメージジャケット

ジョー「ジャパニーズ・サブカル、大好き！ ゲームならスーパーファミコンの、特に“ロックマンX”はサイコーだね。あと僕はジャパニーズ映画が大好き。アニメじゃなくて実写邦画のほうが多いけど、“たんぼぼ”とか“生きる”とか、あと黒沢清の“CURE”、“回路”、“カリスマ”この3つが大好きだなぁ。どちらかというとな昔のクールジャパンが好きなんだ」

アイキッド「ジョーは60年代70年代の日本作品が好きなんですけど、僕は80年代のアメリカ西海岸の文化が好きなんです」

ジョー「なんだか逆になってるよネ（笑）」

アイキッド「だからジョーの衣装も僕のプロデュースなんですけど、赤のダウンジャケットは“バック・トゥ・ザ・フューチャー”のマーティーを、バンドナは“カラテ・キッド（ベスト・キッド）”、サングラスは“コブラ”のオマー・ジュとなっています。スニーカーは“エアジョーダン”をイメージしてますし、全て僕の好みですね（笑）」

ジョー「80年代全部盛りで、あやしいアメリカ人になっちゃった（笑）」

アイキッド「でもどこから見ても僕たちの音楽性が伝わっていいんじゃないかと思っています。現在僕たちのファン層は、同年代を中心にこの時代のカルチャーで育った人たちが多く、どちらかといえばターゲットを絞り込んだ方向性にはなっているので。ただもちろん、若い人たちや女性に向けての発信も増やし、新しいファン層の拡大も狙っています！」

-でもこのとがった感じが、中野発祥らしいとも言えるのではないのでしょうか

アイキッド「というより、中野区でなければ僕たちの活動は不可能だったと思っています。他では、この方向性は絶対受け入れてもらえなかった（笑）中野区には文化の多様性と、それを受け入れる土壌がありますからね。」



ジョー「僕たちと中野の出会いは運命だったんだよ。ダイバーシティなまちだよ。でも秋葉原よりサブカルチャーはディープな感じもするし。カオスなまちという表現の方が合ってるかなあ？」

アイキッド「あと中野って独特の雰囲気がありますよね。こう言ったら失礼かもしれませんが、“絶対に成功しなければいけない”とか“成し遂げられなければ意味がない”とか、そういうのじゃない、“生きてるだけで全然OK”なマインドがあるというか。それって僕の好きなアメリカ西海岸の雰囲気と似てるんですよ、オレゴンあたりの。住んでいて楽なんですよ、中野は。だからアーティストの活動拠点としてだけでなく、住むまちとしても大変気に入っています」

ジョー「都立家政が一番住みやすいね、僕にとってジャストフィット！バスで中野駅前にも行きやすいし、急行電車で新宿にも出やすくして便利。静かなタウンなんだけど、クセも強くおもしろい。未来なまちって感じでもなく、どちらかというところ…発酵しているまち？う～ん、表現難しいなア」

アイキッド「僕が思うに、都立家政って中野の中でもさらにフラットなまちなんですよ。唯一無二のコレ！とかを求めてないというか。ほわっとした若干ゆるい空気が流れているというか。その空気感をまとった人が多く、ある意味達観した感じになってるのが、逆にまちのクセになっていると感じるんじゃないでしょうか。多様性を特別意識しない様々な人が集まって、本当の多様性ができあがちゃっているところとか（笑）。ちなみに都立家政には昔、畑のまん中にライブハウスがあったんですよ。ブルーハーツが初めてライブした場所として有名で。僕はブルーハーツが大好きなんで、ジョーじゃないけど、都立家政がホームなのはやっぱり運命なのかもしれません（笑）」

中野のまちとのかかわりについて

アイキッド「僕たちはMVを作る時はいつも、“半径5m以内”をモットーに中野中心で撮影しています。“クールジャパン”っていう曲があるんですけど、それは哲学堂公園で撮影しました。去年リリースした“合体！ポンズロボ”は、ほぼ鷲宮の妙正寺川周辺だし、初期MVの背景合成の頃も、撮影は都立家政駅前の地下のスタジオでしたね。作品の半分以上は中野で撮影されています（笑）」

—“中野愛”を非常に感じます

アイキッド「愛ありますよ。中野四季の森公園ができるときに、ネーミング募集があったんですけど、それに応募したくらいですからね、僕（笑）」



ジョー「僕も愛あるよ。都立家政から離れたくないなあ、と思っているし。都立家政とか鷺宮の“山”と“まち”の境目な感じでいいところ、他にはなかなかないもの」

アイキッド「おかげさまでザ・リーサルウェポンズは2019年の中野駅前盆踊り大会にも出演させていただきました。当時はまだコロナ前だったので、セントラルパークに多くの人が集まって大盛り上がりでしたね。実はその時、KIRINさんの本社の目の前でホッピーの歌を熱唱しちゃったんですが、まあそれも許容してくれるってのが中野の素晴らしいところですよ（笑）。酒井区長も応援に来てくれて、我々のパフォーマンスにつきあってくれました。なかなか絵面がカオスなステージでしたが、他の区ではなかなか見られないんじゃないでしょうか（笑）。メジャーデビューはしましたが今後も中野発のロックユニットとして、中野を拠点として活動続けたいと思っています」

-今後やってみたいこととかありますか

アイキッド「僕は2つあって。1つめは、中野に住むアーティストとして、やはり中野サンプラザでいつかライブをやりたいと思っています。2つめは、“ポンズフェス”などのタイトルで、ブロックパーティー（音楽やダンスなどを催す地域のお祭り）を都立家政や鷺宮の周辺でやりたいことです」

ジョー「ブロックパーティーいいね！日本でブロックパーティーは珍しいしね」

アイキッド「確かにね。でもだからこそ、そういう珍しいイベントで中野らしく、地元をもっと盛り上げたいんです」

ジョー「ブロックパーティーもやりたいし、僕は中野ブロードウェイの中でライブをしてみたいな。3階の墓場の画廊で配信ライブをしたことはあるけど、今度は4階とかでもっと大々的にね！」

【中野区のお気に入りスポット】



ジョー「僕は、区役所6階のこの部屋から見る眺めがお気に入りだなア」

アイキッド「この部屋、今日初めて来たじゃない（笑）」

ジョー「ザ・ファーストインプレッションよ！まあ、中野の街並みが好きってことさ！まあ、特定のスポットで言

えば、まんだらけかな。お店めぐりしているだけでも楽しいよね。あと中野駅北口前のタイヤキも好きだなあ」

アイキッド「タイヤキ？[れふ亭](#)の大判焼きじゃない？」

ジョー「それだ。タイヤキとか大判焼きは、僕は本来あまり好きじゃないけど、あそこは別だね、美味しい！」

アイキッド「僕はその隣のおそばやも好きだな。中野ってサブカルだけでなく、グルメもすごく充実してますよね。いろんな飲食店に行ってますが、都立家政周辺はほぼ制覇しました。中野駅前エリアで言えば、ブロードウェイ前にある「居酒屋 万喜」っていう焼き鳥屋がお気に入り。抜群に美味しいんですよ。

ただ、僕も中野のお気に入りスポットと聞かれたら、やっぱり中野のまち全体を思い浮かべちゃんですよ。昭和の下町っぽさの残る場所もあれば、ザ・平成といった感じの場所や、駅前なんかはまさに令和の時代の再開発も進んでいるし…とにかく色々な要素がバランスよく詰まっている。なので。まち全体がお気に入り、とお答えさせていただきます（笑）」

★今回の中野人

ザ・リーサルウェポンズ



狂気の発明家アイキッドと最終兵器サイボーグジョーによる、都立家政発の2人組ロックユニット。80～90年代ファンの為の音楽エンターテインメント活動を続け、2019年メジャーデビュー。ソニー・ミュージックレーベルズ所属。

★公式サイトは[コチラ](#)

※問い合わせ先の記載がない記事については、まるっと中野編集部までお問い合わせ下さい。

掲載場所近隣の区民の皆様にご直接お問い合わせすることはご遠慮いただきますよう、お願い申し上げます。

※掲載情報は全て記事取材当時のものです。